



勝浦ロータリークラブ

51期 THE WEEKLY REPORTS

2013-2014年度

No. 33 / Total 2400
 例会：2014. 04. 18
 発行：2014. 04. 25

R | 会長 ロン D. バートン

第2790地区 ガバナー
 関口 徳雄 (浦安)

第5分区 ガバナー補佐
 川名 幸雄 (千倉)

第5分区 幹事
 鈴木 健史 (千倉)

第2790地区
 ロータリー財団委員会
 補助金小委員会 委員長
 関 一憲 (勝浦)

第2790地区
 ロータリー財団委員会
 資金推進小委員会 委員長
 伊藤 正人 (鴨川)

勝浦ロータリークラブ
 会 長 中村 昇
 幹 事 小林 悠紀

クラブ会報委員会
 委員長 渡邊 ヒロ子
 副委員長 関 一憲
 委 員 手塚 明宏
 渡邊 光一

◆報告内容

4月18日 (金) PETS報告
 中村満 会長エレクト

◆本日の例会

4月25日 (金) 会員卓話
 古川範男 君

◆次回例会予定

4月29日 (火) 地区研修・協議会
 アパホテル東京ベイ幕張ホール
 同日 18:00~報告会
 ホテルブルーベリーヒル勝浦

5月2日 (金) 休会

◆会長挨拶 中村昇会長



皆さんこんにちは。
 つい先日桜の花が、開花したとおもきや既に散ってしまいましたね。でも今年は桜の花の件で素晴らしいことがありました。
 テレビ報道等されていましたが、天皇陛下傘寿(80歳)をお迎えになられたという事を寿ぎ、二日間に

わたって皇居内に一般人をして花見をさせるという過去に例のない画期的なことが行われ多くの国民が喜ぶとともに皇室に対しての想いを厚くしたのではないかと思います。

話は変わりますが、今日は会長エレクトの中村 満君から PETS 報告があります。これで私の任務もいよいよ残り少なくなってやや寂しい気持ちもいたします。また、地区協議会が今月29日にアパホテル&リゾート東京ベイ幕張において開催されますという事をお知らせし、今日の話はおもてなしの心についてです。IOC総会における東京五輪招致プレゼンテーションで、我が国の治安の良さと共に外国人を魅了した大きなポイントが「おもてなしの心」。このおもてなしの因は、日本人特有の感性から生じるものであろう。かつて、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)は、ギリシャ生まれのイギリス人ですが、「日本人は、虫の音を音楽として聴き、そこに物の哀れさえ見いだしている。外国では稀にみられる限られた人の感性を、日本人はみんなが持っている。」と称賛しています。日本人にとって当然の立ち振る舞いが外国人の視点では得意とされ、時にそれが羨望的(うらやましがられる)となるわけです。また、日本のとある外国人社長は、日本の「おもてなし」に学ぶとして寄稿しています。その内容を紹介すると、どの文化も人をもてなすことに対する独自の考え方がある。日本の「おもてなし」という概念は、多面的で、見返りを求めずに心遣いやサービスを提供することに価値を置くようだ。この精神が日本人の行動規範として根付いていることをいつも感じる。地方にいる日本の友人を訪ねると、私の興味や好みを考えて観光や食事に誘ってくれる。彼らにとってはごく普通の行為かもしれないが、私にとっては格別の心遣いを受けたという気持ちになる。日本企業の「おもてなし」は単に物やサービスを売るだけではなく、無私無欲の心遣いに重点を置き、顧客の満足度を高めようとしていることが独特だと言うと思っています。千利休は、客をもてなす真髓を「叶うは良し、叶いたがるは悪し」と語っています。自然流なもてなしを良しとし、これみよがしのもてなしを悪しきこととしている。

おもてなしの心は、豪華絢爛さにあるものではない。何ら見返りを求めず、旅人を静かに心から温かくほんのりと迎えることにあるのではないのでしょうか。

◆入会式

『入会おめでとうございます。宜しくお願いたします』



◇新会員・・・北村諭史 君

第一生命オフィス長として東京から勝浦に赴任されました。前任の山本太郎 元親睦活動委員長より引き継いで入会いただきました。北村新会員は『ロータリーでの活動を通じ、人生の大先輩からご指導いただきながら、自分の成長の場にしたいと思っております。』とご挨拶されました。勝浦でのご活躍とさらなる発展をお祈り致します。

◆ニコニコ Box 池田哲夫 親睦活動委員長

◇会員記念日はありませんでした。

◇みなさんから活発な自主申告をいただきました。

◇鈴木亨君

◇村石愛二君



◇高梨薫敏君

◇釜田英之君



※ おわび・・・VOICE RECORDER に失敗いたしました。自主申告の内容が掲載できず申し訳ありませんでした。

◆PETS報告 中村満 会長エレクト



3月29日にホテル ザ・マンハッタンにて、会長エレクト研修セミナーが開催されました。

開会に先立って、司会の始平堂玄昌次期地区幹事長より配布資料の説明があり、関口徳雄ガバナー、崎山征雄次期地区研修リーダーの挨拶に続いて、宇佐見透会長エレクトより次年度の活動方針『原点回帰』を目指して次の16項の説明がありました。

①会長エレクト研修セミナー開催について②ゲイリーC・ホァン氏のテーマ③次年度地区テーマを「ロータリーの復活と原点回帰」とする点について④地区組織の変更について⑤管理運営委員会⑥職業奉仕委員会⑦フェロシップ委員会⑧会員増強・退会防止委員会⑨広報公共イメージ委員会⑩希望の風推進担当の設置について⑪奉仕プロジェクト委員会⑫青少年委員会⑬ロータリー財団委員会⑭ロータリー米山記念奨学会委員会⑮ロータリー・リーダーシップ研究会⑯ポリオ撲滅活動の現状について

特に次に掲げる4項目を重視してくださいとのこと。

- 1、会員増強は各クラブ1名の純増
- 2、ロータデー行いロータリーのアピール
- 3、R財団の寄付は1人150ドル
- 4、クラブ内に研修委員会を設立し、炉辺会議などおこないクラブ活性化しクラブの本質を高める。

次に、各地区委員長より挨拶がありました。

従来のクラブ奉仕委員会から会員増強と広報関係の委員会を独立させたこと、小委員会のフェロシップ委員会は親睦を推進すること。最後に、最後にロータリーリーダーシップ研究会の中村 博亘リーダーより挨拶がありました。

(※お手元の資料ご参照ください)

◆出席報告(4月18日)手塚明宏 委員長

会員数	37名	出席者	26名	MU数	6名
欠席者数	5名	出席率	86.49%		